

小さい者の一人が減びることは天にいますあなたがたの父のみ心ではない。

つ の ぶ え

TSUNOBUE

2020年10月20日

第430号



社会福祉法人
小羊学園

住 所 〒433-8105
静岡県浜松市北区三方原町2709-12

電 話 053-584-3337 FAX 053-585-8488

E-mail sasaeru@kohitsuji.or.jp

H.P http://www.kohitsuji.or.jp/

発行人 稲松 義人

印刷所 アド・アール株式会社



昨年は田園空間博物館(北区細江町)クラフト市にお声掛けいただき出店。落ち着いたらまた交流をしたいですね！

「地域」という言葉をよく耳にします。社会福祉では、「入所施設」や「長期にわたって生活支援を受けるために入院する病院」は地域ではないという意味で使われることがあります。本来は、社会全体ではなく、日常的に関わりのある一定のエリアという意味ではないかと思っています。そこには様々な人が暮らしており、同じ地域で生活すること、そこに様々な人たちの直接的な関わりが生まれます。

「障がい」のある人たちは、そのために、障がいのない人たちと同じように地域での関わりをもてないことがあります。通所施設に通っていても、家と施設を往復するだけの生活では、地域生活と言えないのかも知れません。日常的な関わりがあるのは、家族と支援をしてくれる福祉従事者だけでは、地域社会の一員とは言えないのではないのでしょうか。これからは「福祉従事者」としての発想だけでは、地域福祉のためのアイデアが出てこないのではないかと思っています。

稲松義人



駐車場でパラバルーン

所在地：静岡市葵区城北1-17
定員：20名
対象利用者：重症心身障害児者

*施設の概要

わたぐも

地域とともに

通所施設のつながり

在宅生活を支える通所施設は地域の皆様とのつながりを大切に進めています。現在コロナ禍でイベント等は自粛ムードですが、これまでの活動やイベントを紹介していきます。コロナが落ち着いたら皆さんと、また楽しく過ごしたいですね！

*日常的な活動での地域交流

散歩を通じて地域の方とご挨拶させて頂いています。

また、一日外出や半日外出を企画し、ショッピングモールや公園等へのお出かけや地域のセラピストを招いてリラクゼーション企画、オルゴールセラピー企画を実施しています。利用者さんにとって楽しい経験が出来、今後地域の方達と接する機会が持てるように考えています。

*イベントを通しての地域交流

例年ですとフェスタつばさやドッグセラピー、近隣学校のクリスマス慰問等をつばさ静岡と合同で開催しています。

今年度は残念ながら新型コロナウイルスの影響にて、わたぐも運動会、フェスタつばさやクリスマス慰問等のイベントは中止となりました。外出企画においても自粛しています

が、散歩や駐車場での水鉄砲、シャボン玉等、屋外でも楽しめる活動は継続して取り組んでいます。

クリスマス会は、全体で集まることは控えて、各お部屋で一週間かけてクリスマスを感じられる様な活動を企画しています。

*地域の方にお伝えしたいこと

新型コロナウイルスが収束しましたら、地域の方とも気兼ねなく交流が出来たら嬉しいですね。

*福祉啓発を通しての交流

社会福祉協議会主催のサマーショートボランティアや高校、専門学校、大学等の学生実習を受け入れ、将来の看護師や介護福祉士の育成の一役を担っています。

在宅支援課係長 穴戸亮仁



お散歩コースのいちご屋さん

小羊デイケアホーム

*施設の概要

浜松市北区根洗町754-2
定員20名（26名通所）

*日常的な活動での地域交流

三方原エリアに属し、日頃より家庭的な雰囲気大切にしながら活動しています。8年前からは西区大山町「ぱるしあ」にも生活の拠点を持ち両地域で様々な活動をしています。

主な活動としてクッキー作りがあります。地域の商店で小麦粉やバター、卵等の材料を買い物に行く事から始まり、ハンドミキサーを使った生地作り、包装、地域での販売まで多くの手



クッキー作りの風景



クリストファー大学の学生さんと交流

順を細分構造化して、理解しやすいように工夫しています。

また、畑では一年通して季節の野菜を栽培しています。収穫だけでなく、水やりや草取り等、夏は暑く大変な作業ですが、近隣農家の皆さんにご指導を受けながら楽しんでいきます。その他、アルミ缶のリサイクル、牛乳パックを使用した紙漉き、貼り絵、雑巾作り、木工製品制作等、もらった方々の笑顔を想像しながら活動しています。

天気の良い日は散歩も楽しみです。まだ昔ながらの自然が残る川沿いの道で近隣の方々と笑顔で挨拶を交わします。遠州栄光教会の庭先で一旦休憩した後は、聖隷クリストファー大学キャンパス内を横切ると多くの学生さんたちが声をかけてくれます。

デイケアホームは聖隷クリスト

ファー高校に隣接し、毎日数名の高校生が授業の一環として「労作」で活動に参加しています。訪れる高校生の皆さんは「障がい者」という名前はなく、一人の市民として受け入れ、職員とは違う視点で交流していただける姿に感銘を受ける事も多くあります。

他に特色ある活動として地元図書館で好きな本を借りる活動や、市内の美術館やイベントを見て回る活動もしています。

最近ではミニ運動会を開催しました。毎年の小羊運動会楽しみにしていた「パン食い競争」や「玉入れ」を楽しみました。昨年度の小羊運動会の優勝トロフィーを誇りに、来年は是非他施設の皆さんと交流したいです。

*地域の方にお伝えしたいこと

デイケアホームは小さな施設で、充実した設備がない事を逆に生かして、施設内にとどまらずに、地域の中で活動が展開できるように意識しています。現在はコロナ禍で多くの地域での活動が休止していますが、今後感染対策を工夫しながら地域の一員として継続して活動していきたいと思っています。

サービス管理責任者 高林重誓



マルカート

*施設の概要

マルカートは、浜松市南区にある浜松市所有の複合型福祉施設「アンサンブル江之島」という6階建ての建物の3階で活動をしています。同じ階に放課後等デイサービスのドルチェもあります。

マルカートは2005年4月に開設され、今年で15年が経ちました。定員は20名で現在登録者は26名です。平均年齢36歳、今年高等部を卒業された方が3名新しく仲間入りし最高年齢の方は73歳になります。

*アンサンブル江之島での

地域交流

今年の大きなニュースとしては、「らっきょう」作業でしょうか。2008年から販売を始めたらっきょう作業が、移転の関係で今年度幕を閉じることになりました。酢漬けのらっきょう販売から始まり2017年より生らっきょうの販売へ変更後も、地域の教会の方々や青果市場へ納品でき、皆様の食卓へ届けることができました。長年にわたり、ご愛顧のほど本当にありがとうございます。

アンサンブル江之島で過ごして15

年、地域の方々には色々とお世話になっていきます。区役所や五島協働センターにご協力いただき、活動で使用するペットボトルのキャップを回収させて頂いています。また今年から東区の昭栄商会さんへキャップの納品をさせて頂くことになりました。そして、健康づくり(散歩)では、南区の民生委員の方々がボランティアに来て下さり、利用者の皆さんと川沿いや公園まで散歩を楽しむ機会もありました。日常のなかでも、すれ違う地域の方々、毎日笑顔で元気に挨拶を交わし、ふれあいを大切にしています。

アンサンブル江之島では、毎年同じ建物内の他法人事業所との交流会を開催しています。江之島高校の吹奏楽部の皆さんに来て頂き、演奏を披露して頂いたこともありました。実際に生の演奏を間近で聴く体験ができ、大迫力から伝わってきたことを思い出します。また、その時の交流会で繋がった「シニア劇団浪漫座」さんとは、2回お越し頂き、白雪姫や浦島太郎の劇を楽しませていただきました。利用者の皆さんが踊りたく前に出ると、手をいであれたり、声をかけてくださったたり、笑い声がたくさん響き渡る時間となりました。

こうして振り返ってみると、たくさん地域の方々との交流を楽しませてい

ただき、ご協力いただいていると、実感しました。本当に感謝の心でいっぱいです。

何気ない日常の有り難さを感じるこの頃ですが、またこの地域の皆さまとのふれ合いができたかと願います。そして移転先でも地域の方々と新しい関係を築いていける事を楽しみにしています。

サービス管理責任者 中西洋子



浪漫座の乙姫さまと感動の握手



民生委員のみなさんと散歩

オリーブの樹

*施設の概要

生活介護、就労継続支援B型

浜松市浜北区尾野462-2

定員…生活介護30名

就労継続支援10名

対象者…知的障がい、身体障がい

*日常的な活動での地域交流

様々な活動の中で地域と交流する場面は多々あります。生活介護では、活動の中で散歩へ出掛け、行き会う人と挨拶をしたり、空き缶回収先や内職作業にて制作をした授産製品を置かせていただいている店舗、パン販売では近隣の学童保育への納品などを行っています。

就労継続支援B型では、近隣の工場へ仕事に行ったり、内職作業のやりとりをする事や、市内各所へ草刈り作業に出掛けています。近隣事業所と合同で実施することも多々あり、他の事業所との交流もすることが出来ています。

*イベントを通しての地域交流

今年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止となりましたが、地域交流イベントの

メインとしては、毎年9月に実施をしている『オリーブ祭り』になります。利用者や保護者、近隣住民や施設の利用者などを招待して盛大に開催をしています。

パン販売を通して様々なイベントへの参加をさせていただいています。例えば、特別支援学校でのイベントへの参加、他施設のイベントへの参加等になります。クリスマスの時には、浜北教会へみんなで礼拝に出掛けることにしています。そして、静岡県知的障害者福祉協会主催の『愛護ギャラリー展』への利用者作品を出展などもしています。

*福祉啓発を通しての交流

地域の中学生による職場体験や福祉体験、大学生による実習の受け入れを随時実施しています。また、特別支援学校の保護者見学や体験も毎年実施しています。そして、オリーブ祭りの時には、多くの学生ボランティアの方が参加してくれています。

*地域への参加

前年度より事業所として自治会費を納入させていただくことになりました。今後より一層地域との関わりを密なものにしていきたいと思っています。

しかしながら、現在はあまり自治会主催の行事や防災に関して深い交流が

出来ているとは言えません。もっとオリーブの樹として様々な交流をしていくことで、災害時なども地域で助け合うことが出来るようになると思います。なにより、オリーブの樹とはどんな施設であり、どんな人達が日々通っていて、どんなことをしているのか等を、もっとよく知っていただくことが出来ると思います。

サービス管理責任者 榎 亜珠加



オリーブ祭りバザー (パン販売)



わがざへ給食のパン納品

知っ
トクふくし

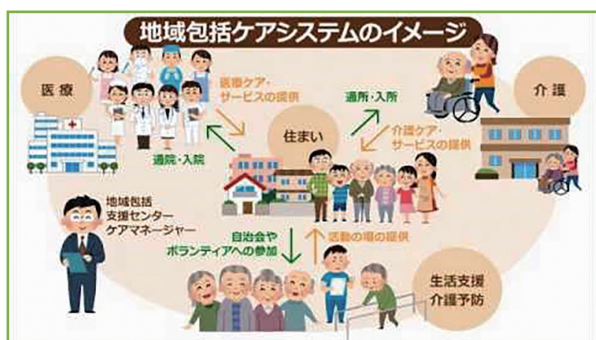
地域包括ケアシステムって？



高齢者福祉では、各機関縦割りで連携・協働が結びにくい課題を踏まえ平成27年の介護保険法改正時に「地域包括ケアシステム」を導入しました。すでに地域包括支援センターなど名前を聞いたことがある方はおられるかもしれませんが、この改正によって「住み慣れた地域で生活を継続できるようにするため、介護・医療・生活支援・介護予防の充実」が謳われました。

このことにより、在宅生活を中心として医療・福祉・地域住民の連携が強化され、ご本人を中心とした包括的な支援の輪が制度設計上は出来上がりました。

地域包括ケアシステムは、高齢者福祉政策として形作られましたが、障害福祉の世界でもシステム活用ができるのではないかと議論がされています。特に精神障害者領域は医療・福祉の連携が重要なため、追従する形で動き始めています。障がい福祉に限らないで、この仕組みは知っておくとお得ですよ！



高齢者地域包括ケアシステム



精神障害者地域包括ケアシステム

私たちのこともっと伝えたい！ 今回は グループホーム温心寮

の魅力を伝えます

グループホーム温心寮の概要

今年度よりすずらんを一時休止とし、温心寮・ひだまり・あゆみホームの3ホーム定員19名でのグループホーム新体制がスタートしました。通所先は三方原スクエア・オリーブの樹・小羊デイケアホームといった法人内の事業所だけでなく、他法人の事業所へ通所されている方もおります。また、移動支援や介護保険サービス、訪問マッサージなど様々なサービス・地域資源を利用しながら地域生活の充実を図っています。



温心寮外観



余暇予定選択の一コマ

生活の様子

今年度は感染症予防策により外出の機会が減り、ホーム内で過ごす時間が多くなりました。その中でも、夕食メニューや余暇の予定、月1回の宅配ガスト昼食メニューなど、選択の機会を多くし、利用者の皆さんが分かりやすいよう写真や絵を使って希望を伺い、グループホームでの「日々の生活の楽しみ」に繋げています。

KOHITSUJI STAFF



リレートーク

Vol.10

太田 温子 さん

2009年入職 つばさ静岡
療育支援部 生活支援員


Q小羊学園を志した動機は？

学生の頃、おおぞら療育センターに実習に行く機会があり、利用者さんにとっての『生活の場』ということに興味を持ったのがきっかけです。

Qこの仕事の嬉しいこと、悲しいことは？

つばさに来て長く経ちましたが、利用者さんの表情や出来事等、新しい発見や変化を知ると未だに驚きと嬉しさを感じます。悲しいことは最近、よく関わりのあった利用者さんが続けて亡くなられたことです。私自身、身近な方が亡くなるという体験がそれまでほとんどなかったので、色々と考えさせられました。

Qちょっとプライベートを教えてください！

本を読んだり映画を観たりと、家でゆったりまったり過ごすことが好きです。本はお金の問題もあり…最近、社会人になってから足が遠のいていた図書館通いを復活させようかと計画中です。

Q誰にリレーしましょうか？

また一言メッセージを！

次は【温心療】横田さんにバトンタッチします。このような状況で委員会でもなかなか会えませんが、また、集まれた時はお話し聞かせて下さい。

松川電気株式会社様より
寄贈いただく

支援センターわかぎ

8月25日に松川電気株式会社様(浜松市東区有玉北町)から、10万円の寄付とタオル・石鹸の寄贈をいただきました。今年は新型コロナ感染症にも配慮いただき併せて150枚のマスクもご寄贈いただきました。例年は、利用者と社員様の子どもたちとの交流会があるのですが、コロナの影響で贈呈式のみとなり、さみしい限りです。2007年から始まった支援の輪は今年で14回目となりました。継続してお支えくださり感謝・感謝です！

右側：松川電気施工部
大石様

社会福祉法人 小羊学園
新規採用募集中

*小羊学園では、2021年4月採用の入職希望者の募集をしています。障がい者福祉に興味のある方、人と関わることが好きな方、私たちと一緒に働きませんか？

詳しくは、小羊学園ホームページの募集要項をご確認ください。

小羊学園を支える会

2020年度 寄付金報告

8月～9月分 631,000円(27件)
累 計 3,146,865円(99件)
多くのお支えに感謝申し上げます

小羊学園への寄付金振込み先

郵便振替口座 00800-8-107785
口座名義 社会福祉法人小羊学園
ゆうちょ銀行 089店 当座預金0107785
口座名義 社会福祉法人小羊学園

ご希望があれば、郵便振替用紙をお送りいたします。下記へご連絡ください。

小羊学園を支える会事務局(鈴木)

小羊学園法人本部 ☎ 053-584-3337

あ と が き

「奏者の想いのままに吹ける篠笛が浜松にある。」自他共に認める祭り好きの私は、その言葉にどれだけ心躍らされただろう。地域の祭りやイベントが相次いで中止になる中、既に私の頭の中は来年の祭りへ思いを馳せる。祭りの時期から逆算して、注文する時期はいつ頃か？色は？形は？そんな想像をしていると、気持ちが晴れ、自然と前向きな気持ちになれたことに、こういう発散方法もあるのだと気付かされた秋口だった。

感染症流行の時期が近づいてきました。皆様もどうかお身体をご自愛ください。

(S)